

抗リン脂質抗体症候群合併妊娠の管理状況についてのアンケート

【施設名 _____ お名前 _____】

下記の欄に、()には該当する言葉を、選択肢には数字に _____ をつけてください。個別的には処理はいたしませんのでご安心ください。回答には現在の状況をお書きください。

1. 先生の科において、抗リン脂質抗体陽性の患者さんの妊娠例は1年間でどのくらいありますか？

ある(約 _____ 例/年) なし

2. 1のうち抗リン脂質抗体症候群(APS)*と考えられる症例はどのくらいありますか？ *国際抗リン脂質抗体症候群クライテリアを満たす(検査回数以外)

ある(_____ 例/年) なし

3. 2.に関して、APSの臨床症状別の症例数についてお答えください。
(延べ数/年)

- ・動静脈血栓症の既往(_____ 例)
- ・10w以降の、他に原因の明らかでない流産が1回以上(_____ 例)
- ・重症妊娠高血圧症候群あるいは胎盤機能不全による34w以前の早産(_____ 例)
- ・10w未満の他に原因の明らかでない流産が3回以上(_____ 例)

*国際抗リン脂質抗体症候群クライテリア

臨床所見

1. 動静脈血栓症の既往
2. 妊娠合併症
 - a. 10w以降の、他に原因の明らかでない流産が1回以上
 - b. 重症PIHあるいは胎盤機能不全による34w以前の早産
 - c. 10w未満の他に原因の明らかでない流産が3回以上

検査基準

1. 抗カルジオライピン抗体 IgG or IgM が中力価ないし健常人の99パーセントイル以上
2. IgG or IgM 抗 2GPI 抗体が健常人の99パーセントイル以上
3. ループスアンチコアグラントが陽性

臨床所見の1項目以上、かつ検査項目のうち1項目以上が12週以上の間隔で2回以上陽性

4. 抗リン脂質抗体ないしは関連検査の施行状況を知るための質問です。該当する番号に をつけてください。ご自分で治療の判断に設定している**基準値があれば**下線の上に記入してください。

<抗リン脂質抗体>

| | | | | |
|----|---------------------------------|------------------------|--------------------|-------|
| 1 | 抗カルジオリピン抗体 IgG | 測定している (基準値 10.0IU) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 2 | 抗カルジオリピン抗体 IgM | 測定している (基準値 10.0IU) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 3 | 抗 CL ₂ GPI 複合体抗体 IgG | 測定している (基準値 3.5IU) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 4 | LAC 希釈蛇毒法 (グラディポア) | 測定している (基準値 1.3) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 5 | LAC リン脂質中和法 (Staclot LA) | 測定している (基準値 6.3) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 6 | LAC aPTT 凝固時間法(SRL・MBL) | 測定している (基準値 55.5) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 7 | 抗ホスファチジルエタノールアミン IgG | 測定している (基準値 0.32) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 8 | 抗ホスファチジルエタノールアミン IgM | 測定している (基準値 0.44) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 9 | 抗ホスファチジルセリン抗体 | 測定している (基準値) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 10 | 抗ホスファチジルセリン依存性抗プロトロンビン抗体 IgG | 測定している (基準値 1.2) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 11 | その他 () | 測定している (基準値) | | 測定しない |

<抗リン脂質抗体以外>

| | | | | |
|----|------------|---------------------------|--------------------|-------|
| 12 | プロテイン S 抗原 | 測定している (基準値 65%) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 13 | プロテイン S 活性 | 測定している (基準値 60%) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 14 | アンチトロンビン抗原 | 測定している (基準値 23.6mg/dl) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |

| | | | | |
|----|---------------|---------------------|--------------------|-------|
| 15 | アンチトロニン 活性 | 測定している (基準値 80%) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 16 | プロテインC抗原 | 測定している (基準値 70%) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 17 | プロテインC活性 | 測定している (基準値 64%) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |
| 18 | 凝固第XII因子活性 | 測定している (基準値 50%) | 測定している 基準値_____ | 測定しない |

5. 抗リン脂質抗体は12週間あけて2回陽性を確認することとなっていますが、実際はいかがですか？

- 12週間あけて2回陽性を確認する
- 12週間あけないが、2回測定する
- 1回のみ測定する

~~~~~

## アンケート

(可能であればお願いします)

APS (APS 様) 合併妊娠の治療の現状を調査し、今後、本研究班が予定している診療指針作成に際し、その結果を反映させていきたいと考えております。つきましては、以下のような症例に対しどのような治療をされているのかお教えいただきたく存じます。あてはまるものにレ点を記してください。複数選択可です。

1: 薬物治療はしていないSLEで、過去に3回の流産歴がある。  
抗カルジオライピン抗体が ~ の場合、妊娠中の治療はどうされますか。

抗CL - IgG が 20U/l (低値) 抗CL 2 GPI 抗体が陰性 (<3.5) の時、  
LDA 内服 (妊娠\_\_週まで)  
ヘパリン治療 (妊娠\_\_週まで)  
産科医に任せる  
その他 ( )

抗CL - IgG が 50U/l (高値) 抗CL 2 GPI 抗体が陰性の時、  
LDA 内服 (妊娠\_\_週まで)  
ヘパリン治療 (妊娠\_\_週まで)  
産科医に任せる  
その他 ( )

抗 CL - IgG が 20U/l ( 低値 ) 抗 CL 2 GPI 抗体が 6.5U/mL ( 陽性 ) の時、  
LDA 内服 ( 妊娠\_\_週まで )  
ヘパリン治療 ( 妊娠\_\_週まで )  
産科医に任せる  
その他 ( )

2 : プレドニン 10mg 内服中の SLE で、LAC が陽性、血栓症や妊娠関連の既往症はない。初回の妊娠ではどのような薬物治療をするか

LDA 内服 ( 妊娠\_\_週まで )  
ヘパリン治療 ( 妊娠\_\_週まで )  
産科医に任せる  
その他 ( )

3 : 深部静脈血栓症の既往がある症例で、LAC が陽性でありワーファリン治療を受けている。残念ながら前回の妊娠で LDA + ヘパリン治療を行ったが 22 週で死産となった。次回の妊娠ではどのような治療を**追加する**か？複数回答可。

ステロイド剤  
大量 グロブリン  
血漿交換、  
その他\_\_\_\_\_ )  
産科医に任せる

抗リン脂質抗体合併妊娠に関するご意見、本研究班に対する要望がございましたらお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

ご回答内容は病院名が特定される形で公表されることはございません。

今後、抗リン脂質抗体症候群合併妊娠についての症例調査を予定しています。その際にはご協力をよろしくお願い申し上げます。

連絡先 : 村島温子

国立成育医療研究センター母性医療診療部  
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1  
TEL:03-5494-7220 ( 村島直通 ) FAX:03-5494-7406  
E-mail:murasima-a@ncchd.go.jp